

エアベンダー (2010)

THE LAST AIRBENDER

メディア 映画

ジャンル アドベンチャー ファンタジー アクション

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 103分

初公開日 2010/07/17

公開情報 パラマウント

映倫 G

【キャッチコピー】

4つの王国。

1つの運命。

世界最後の希望は
この選ばれし者に託された――。

【解説】

「シックス・センス」「ハプニング」のM・ナイト・シャマラン監督が、初めてオリジナル脚本ではなく、原作のある物語に挑戦したファンタジック・アクション・アドベンチャー。米ニコロデオンの人気TVアニメ「アバター 伝説の少年アン」を実写映画化。秩序が崩壊し戦乱が続く世界に調和をもたらす最後の希望となった一人の少年の成長と活躍をスペクタクルに描き出す。主演のノア・リンガーはテコンドーで黒帯という武術の実力が認められ、みごと大役に大抜擢となった。

氣・水・土・火の4つの王国によって均衡が保たれていた世界。各王国には、それぞれ国の要素“エレメント”を操る使い手“ベンダー”がいた。その中でも4つ全てのエレメントを操ることができる者は“アバター”と呼ばれ、世界に調和をもたらす唯一の存在といわれていた。アバターは輪廻転生により各国順番に現われ、今世そのアバターとして生まれたのは、氣の国の民で“エアベンダー”の少年アンだった。しかし、アバターの重責に堪えきれず逃げ出したアンは氷の中に閉じ込められてしまう。ちょうどその時、火の国が反乱を起こし、氣の国は全滅、世界の秩序は崩壊する。100年後、水の国の兄妹カタラとサカによって発見され、救い出されたアンは、アバターとしての宿命と向き合い、世界に平安を取り戻すべく、さまざまな試練に立ち向かっていくのだが…。

【クレジット】

監督	M・ナイト・シャマラン	M. Night Shyamalan
製作	サム・マーサー	Sam Mercer
	フランク・マーシャル	Frank Marshall
製作総指揮	キャスリーン・ケネディ	Kathleen Kennedy
	スコット・アヴァーサノ	Scott Aversano
	マイケル・ダンテ・ディマーティノ	Michael Dante DiMartino
	ブライアン・コニーツコ	Bryan Konietzko
キャラクター創造	マイケル・ダンテ・ディマーティノ	Michael Dante DiMartino
	ブライアン・コニーツコ	Bryan Konietzko
脚本	M・ナイト・シャマラン	M. Night Shyamalan
撮影	アンドリュー・レスニー	Andrew Lesnie
プロダクションデザイン	フィリップ・メッシーナ	Philip Messina

衣装デザイン
編集
音楽
出演

ジュディアナ・マコフスキー	Judianna Makovsky	
コンラッド・バッフ	Conrad Buff	
ジェームズ・ニュートン・ハワード	James Newton Howard	
ノア・リンガー	Noah Ringer	アン
デヴ・パテル	Dev Patel	ズーコ
ニコラ・ペルツ	Nicola Peltz	カタラ
ジャクソン・ラスボーン	Jackson Rathbone	サカ
ショーン・トーブ	Shaun Toub	アイロ伯父
アースフ・マンドヴィ	Aasif Mandvi	ジャオ司令官
クリフ・カーティス	Cliff Curtis	オザイ王
セイシェル・ゲイブリエル	Seychelle Gabriel	ユエ王女
フランシス・ギナン	Francis Guinan	
デモン・ガプトン	Damon Gupton	
サマー・ビシル	Summer Bishil	
ランダル・ダク・キム	Randall Duk Kim	
ジョン・ノーブル	John Noble	